



いのち
生命と神話が息づく新しい日本のふるさとづくり



中国地区高校演劇発表会で最優秀賞を受賞した三刀屋高校演劇部のみなさん

2012

1

No.86

CONTENTS

- 2 市長、議長 新年のごあいさつ
- 4 雲南ニュース
- 7 健康づくり拠点整備の検討状況
- 8 ふるさとウォッチング
- 10 雲南病院だより
- 14 わが家のホープ
- 15 こげなことしとーます研究所うんなん ほか
- 16 雲南市・飯南町事務組合の決算状況報告 ほか
- 18 市役所からのお知らせ ほか
- 27 ヤマトノオロチ伝説の舞台・雲南を巡る シリーズ⑩
- 28 1月のイベント

市

Public Relations

報

うんなん

「平和を」の都市宣言のまち 雲南市



昇り龍のごとく飛躍の年に

雲南市長 速水雄一

新年、明けましておめでとうございます。市民の皆様には、ご家族お揃いで、新しい年をお迎えになられましたことと心からお慶び申し上げます。

さて昨年は、年初来の大雪、3月11日の東日本大震災、津波、福島第1原子力発電所の事故、更には相次ぐ台風の襲来により、大変多くの方が被災され、亡くなられました。心からご冥福をお祈りし、お見舞いを申し上げますと共に、一日も早い復興を願う次第です。

さて、新しい年となり雲南市も誕生から8年目を迎えました。3月には中国横断自動車道尾道松江線が吉田・掛合インターまで開通します。引き続き三次ジャンクションまでの開通を見据え、吉田チェンベースの整備に合わせ、活性化施設を整備し、道路利用者の誘客を図ります。

また、「幸運なんです。雲南です。」を合言葉とした雲南ブランド化プロジェクトについては、一層の進展を図ります。特に今年には、日本最古の歴史書「古事記」が編纂されてから1300年を迎えます。「古事記」の上巻は、日本列島の成り立ちと国造りが語られ、国譲り、天孫降臨を経て、神武天皇誕生までの日本の「神話」が記されています。それは、壮大なスケールと躍動するダイナミズムにあふれ、物語として力強い魅力に満ちています。その日本神

話の、重要な舞台が「しまね」であり、スサノオノミコトの活躍の場である雲南地方です。そうした雲南市に多くの方々がおいでいただき、神話の世界にたっぷりと浸っていただけるよう島根県等と連携し、積極的に事業展開してまいります。

さらに、ブランド化の一貫として、持続可能なエネルギーの再生産と里山の有効活用を図るため、森林バイオマスの取り組みを推進します。具体的には、たたら山再生プロジェクトにより、里山のエネルギー利用の推進、里山の食糧供給機能の復活、里山の小規模多機能自治への挑戦に取り組みます。また、2月には、海潮温泉の桂荘が新装オープンし、多くの皆様にご利用いただけるものと期待をしています。

そして、いよいよ今年には尾原ダムが完成いたします。尾原ダム建設事業の最終段階である試験湛水が再開され、順調に水位が上昇しています。昭和47年の山陰大水害を受けて、昭和51年に計画が公表されてから35年有余を経て、3月に完成の見込みです。一日も早い斐伊川水系全体の治水事業の完成を望むところでもあります。

今年には辰年、昇り龍のごとく天に向かっての雲南市の大きな飛躍と皆様のご健康、ご多幸を祈念して、年頭のごあいさつといたします。

市民の皆様と一丸となって



雲南市議会議長 藤原政文

新年あけましておめでとうございます。年頭にあたり、市民の皆様にごあいさつを申し上げます。昨年は、大雪の年明けで始まり、未曾有の大災害となった東日本大震災、それに起因する原発事故、さらにはゲリラ豪雨など甚大な災害が発生し、また、タイ国の大洪水や欧州連合加盟国の一部での国家財政破綻の危機による世界経済への大きな影響など先の見えな不安定な一年でした。

このような中で、私たちは多くのことを学ぶことになりました。まず、人と人との支え合い、絆の大切さが最も大切なことのひとつであるということです。海外から日本人の秩序ある行動に対し多くの称賛の声が届きましたが、これも日頃の思いやりの心、支え合いの風土に基づくものではないでしょうか。

そして、被災地の動きを見ると、いざという時に基礎自治体がいかに機能することが本当に大切であることを痛感いたしました。

こうした国難の中で、面白い話題は女子サッカー「なでしこジャパン」がワールドカップで優勝したこととです。最後まで諦めない心とチームワークによる勝利は、まさに「絆の力」であり、我々に勇気と感動をもたらしてくれました。

今なお、住み慣れた故郷を離れての避難生活や仮設住宅での生活を余儀なくされている方々の心情を思うと心が痛みますが、復興に向け必死に立ちあがり活動される被災地の方々に、改めて『がんばれ東日本！がんばろう日本！』のエールを贈りたいと思います。

さて、市民の皆様にはこの一年、地域自主組織を中心に自主活動を展開しながら様々なことに取組んでいただきました。こうした市民力の醸成が、雲南市にとって欠かせない大きな力になると確信しています。行財政改革をはじめ、なお課題が山積していますが、引き続き地域での話し合いを深め、それぞれの地域に合った活動を進めていただきますようお願いいたします。

雲南市議会におきましても「自己決定、自己責任」が強く求められ、議会および議員がその役割の重要性を再認識し、議会改革の先進議会の議長を招聘した研修会や人権研修など様々な研修を積み重ねています。そして、昨年の決算委員会は議長、監査委員を除く全議員で構成し、次年度の施策へ繋げるべく事務事業評価の審査を導入し、市長へ提言を行いました。

また、「議会報告会」に延べ1,200人を超す市民の皆様に参加いただき、数多くのご意見を賜りました。皆様の生の声を市政にしっかり届けると共に、説明責任を果たす仕組みづくりを進め、議員一同、一層の議会活動に邁進する所存です。

「災いから逃げようとする、必ず追いかけてくる。でも立ち向かうと、災いは逃げていく。」との言葉がコラムに掲載されていました。市議会といたしましても様々な課題に対し、市民の皆様と共に立ち向かい、皆様のご期待に応えられるよう一生懸命努力する所存でありますので、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。年頭に、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

ニューニュース

森林バイオマスの活用と 市民参加によるたたら山の里山づくり

うなん森林バイオマスフォーラムを11月27日、加茂文化ホール・ラメールで行いました。雲南市は、市内にある森林資源をエネルギーとして活用するため、林地残材をチップ燃料に加工し、チップボイラーで熱を供給するシステム



パネルディスカッションの様子

このフォーラムは「たたら製鉄」で栄えた時代を陰で支えた「たたら山」に鑑み、市民参加型の林地残材の収集・運搬の仕組みづくりについて、



基調講演する丹羽健司さん

市民の皆さんと一緒に考えていくために開催しました。

はじめに市から「たたら山再生プロジェクト」の取り組みを紹介した後、鳥取大学非常勤講師 丹羽健司さんが「木の駅プロジェクトで山を活かす」と題して基調講演を行いました。パネルディスカッションは、「うなんの森林をみんなで活かそう」をテーマに、自らもグループでボランティア活動を行っている市民代表者が「ボラ

雲南市教育フェスタ2011 新たな力の創造に向けて！雲南市からの発信！

「学び」「人づくり」「地域づくり」をコンセプトに次代を担う子どもや若者が夢や希望をもって未来に前進していける環境づくりと真に必要な「生きる力」とは何かを語り、新たな雲南市の可能性を求める場として、雲南市教育フェスタ2011を11月26日、27日に加茂文化ホール・ラメールで行いました。



カタリ場（公開授業）の様子

り場で、少し先輩の大学生と中学生が語り合い、その後、教育関係者を中心として「今、子どもたちに求める力」をテーマとした熟議が行われ、「生きる力」について熱い議論が交わされました。

2日目は、大東町の女性の集いグループが「上代タノ先生の生い立ちと実践」、寺領小学校が「加藤敏一郎先生の教育理念をつなぐために行っている食と農の体験」を発表した後、男女共同参画の視点から、岩城敏之さんが「笑って学ぶ子育てのコツ」と題して講演を行いました。最後に「雲南市の可能性を求めて！」をテーマに円卓会議を行い、パネリストや会場の参加者全員が神さまとなる「雲南ぜんいん神さま会議」とし、雲南は日本の何を縁結びするから人のパネリストが思いを語り合いました。コーディネーターの地域力創造アドバイザーの青木千栄子さんは、「市民が一丸となって、雲



円卓会議（雲南ぜんいん神さま会議）の様子

ンティア活動には限界があるが、他の市民団体など横のつながりで一緒に作り、市民のパワーで後押しをしたい」と語りました。速水市長は、「里山再生プロジェクトの取り組みがされることによって、地域自主組織や市民グループが元気になる、里山が再生し、雲

障がい者地域自立支援協議会総会

11月25日、チェリヴァホールで雲南市障がい者地域自立支援協議会総会が開催されました。今年で2回目の総会では、各分会等からの1年間の取り組みの報告と今後の取り組み、次期障が



南市の発展にも繋がる」と述べました。最後にコーディネーターの島根大学伊藤勝久教授が「山をもう一度活用できる仕組みを作り、地域にものお金・元気が全て循環するよう、市民総出で作ってほしい」と語りました。

い者計画について協議が行われました。同協議会は、障がい者が地域で安心して暮らしていけるように、障がい福祉団体やサービス事業所、行政関係機関等が連携、協力して、障がい者の地域支援を検討、実践したり、行政への政策的な提言等を行っていくものです。次期障がい者計画（平成24年度～26年度）については、相談支援事業の強化や原発事故等含めた災害時の対応、障がい者雇用の企業への理解を求める啓発、公共交通や福祉交通などの移動支援の充実、アパート等の入居支援策の検討等の課題が挙げられました。

意見交換では、障がい児者親の会から特別支援学校高等部分教室の設置に向けた協力をお願い、サークル雲南から自立した生活を行うための作業所での賃金の向上の意見が出され、これらの意見を踏まえて、継続して取り組みを強化していくことになりました。

南市が何をしたいのかを取りまとめ、それを実現していく方法を考えてほしい」と会場の皆さんに訴えました。

三刀屋中改築記念モニュメント除幕式、 千本桜植樹式

この春に完成した三刀屋中学校校舎の改築を記念し、モニュメントの除幕式と永井千本桜二世の植樹式が11月27日、三刀屋中学校武道館北側駐車場で行われました。

なお、この事業は、全国モーターボート競走施行者協議会からの拠出金を受けて実施しました。



校にします」と誓いました。除幕式が続いて、「永井千本桜二世」の記念植樹が行われました。「永井千本桜」は、永井隆博士が昭和23年九州タイムズ文化賞を受賞した際、賞金をもとに購入した1,200本の桜を植樹したことからそう呼ばれています。現在では20数本しか残っていないため、接木をした二世桜を植樹することで次世代へ永井博士の平和への願いと精神を継承していくものです。

安心して暮らせるまちをめざして

認知症の人が行方不明になった場合を想定して、早期発見に繋げるための認知症徘徊模擬訓練を11月15日に木次町内で行いました。訓練では、商店など地域の



11月15日に行った認知症徘徊模擬訓練の様子

事業者や団体などが登録している「認知症徘徊SOSネットワーク」の協力会員へ行方不明者の情報を連絡し、協力会員から目撃情報などを通報してもらおう流れを確認しました。

訓練後のPR活動では地域福祉推進員と木次町内でネットワークのチラシを商店や街頭で配布し、行方不明になったときの早期発見の必要性などを伝えました。このネットワークの協力会員の募集を随時行っています。詳しくは地域包括支援センター（☎0854-4011043）へ問い合わせください。

認知症徘徊・高齢者虐待
相談専用電話（24時間対応）
☎0854-4011066

2年ぶりの子牛共進会で首席を獲得

11月11日に平成23年度島根中央子牛共進会が、松江市宍道町の島根中央家畜市場で行われました。

昨年は口蹄疫の影響で開催が見送られたため、2年ぶりの開催となりました。

雲南市からは、雲南市子牛共進会で特選賞を獲得した和牛で第1区（生後4カ月〜6カ月）へ5頭、第2区（生後7カ月〜8カ月）へ6頭の計11頭が出品されました。

審査の結果、第1区で雲南市掛合町 安井辰雄さん所有の「はるはな号」が優秀賞首席を獲得しました。



市長コラム

市民参加のまちづくり

昨年は、年初の大雪、3月には東日本大震災、その後の台風襲来と災害に幾度となく見舞われた年でした。雲南市がスタートして8年目に入りましたが、どうか今年はそれこそ末広がりな穏やかな年であることを願うばかりです。

昨年11月、日本自治学会研究会が岡山大学で開催され、雲南市の地域自主組織の取り組みを披露する機会を得ました。中山間地のまちづくりの担い手の確保、鳥獣被害対策、活かせる地域資源に気付くことの大切さ等、中山間地共通の課題について情報交換が出来ました。そして、この閉塞感の真っ只中であって、地方が元気であることを確認し合いました。

前東京大学総長の小宮山宏氏が、地域ごとに快適なくらしが営まれる社会を実現する「プラチナ社会構想」を提唱されています。プラチナという言葉には、これまでの延長線上にはない、質の高い社会という意味が込められています。雲南市発足以来進めてきました「市民が主役のまちづくり」こそが、プラチナ社会の実現に繋がると思います。



雲南市民歳末余芸大会で安来節を歌う市長（12月4日）

健康づくり拠点整備の検討状況

「医療と保健の融合による健康づくり拠点整備事業の在り方に関する検討委員会」の第4回会議が、10月14日に開催されました。

会議の検討内容や出された意見等の概要を以下のとおりお知らせします。

■各委員からの意見（抜粋）

○県内の各プールは単純な比較はできないが、どこも年間約4千万円の指定管理料が発生している。

○可動床は県内にはない。導入するのであれば、①全面セパレート、②部分可動、③全面可動の順が効果的と思われる。

○（可動床について）補助金があるので初期投資に力を入れて、ランニングコストを抑えるべきである。保温効果もあり有効である。

○利用者のメインターゲットをどこに置くか、高齢者であれば医療面のサポートがないと人は来ない。子どもであれば教室を充実させる必要がある。

○現状では医師の確保など医療面での課題がネックである。まずは週1〜2回の相談からスタートするほかに、

○介護保険料も絶対数が増えれば当然上がることが予想されるので、介護予防がより効果的に行えるかどうか

○（三刀屋の水泳教室について）近いから来る、小さいプールだから来るということも考えられる。

○東御市もそうだが、高齢者の固定客を確保するには個人指導ができるかどうか重要だと思われる。

○高齢者については、体力差、年齢差が激しく、また恐怖感もある。安全を確保するには指導者の数が必要になる。

○運動療法を誰がするかという点。病院で処方していただき、それを現場で実施するといった連携がとれるかどうか課題。そうした人材の費用も必要だろう。

○人工関節の人の場合、病院でリハビリをやるよりも、プールでの自発的なりハビリのほうが効果があると思われる。

■会議のまとめ（委員長）

今後、正副委員長と事務局で検討委員会の報告案をまとめていくこととし、次回（1月）に提案したい。

■今後の予定
次回の会議は、平成24年1月中旬に開催することとした。

■施設の概要

○25mプール（8コース、可動床）、幼児用プール、歩行用プール、ジャグジー、トレーニングルーム、スタジオ、浴室、サウナ、相談室、休憩室、見学室、キッズコーナー等、3700㎡のゆったりとした床面積に充実した施設を設置。

○月会費は平均5,000円



広々としたトレーニングルーム

■特色ある取り組み

○市内医療機関からの処方せんに基づく運動療法の実施（指定運動療法認可施設により医療費控除の適用）。

○健康運動指導士や管理栄養士等の資格をもったスタッフ10人と外部講師が、一人ひとりの状況（健康面、体力面等）に応じた運動プログラムを作成し指導。

○送迎用のバスを用意し、遠隔地の利用者にも対応。

○会員の交流イベントや地域での出張教室の展開。

（第4回会議）

■議題

- 「施設の整備概要」の説明・協議（事務局）
- 「県内プールの状況」の説明・協議（事務局）
- 「施設の利用イメージと機能」の説明・協議（事務局）
- 「市内の既存温水プールの利用状況」の説明・協議（事務局）



可動床8コースの25mプール

健康推進課
☎0854-401018

11/27

「みんなの心を一つに」 民谷分校で最後の学芸会

長い歴史を持つ民谷分校、最後の学芸会が分校と閉校記念事業実行委員会の主催により開催されました。

今年は、閉校記念事業の一環として『民谷分校区 文化祭』と題し、児童5名による学芸会に加え、「収穫祭」や地域の皆さんの出品による「作品展」、10月の民谷秋祭りを題材とした「写真展」、初お披露目となるオリジナルソング 民谷の歌「ありがとう」の合唱など盛りだくさんの内容で開催されました。150人を超えた来場者の笑顔とともに、思い出いっぱいの文化祭となりました。



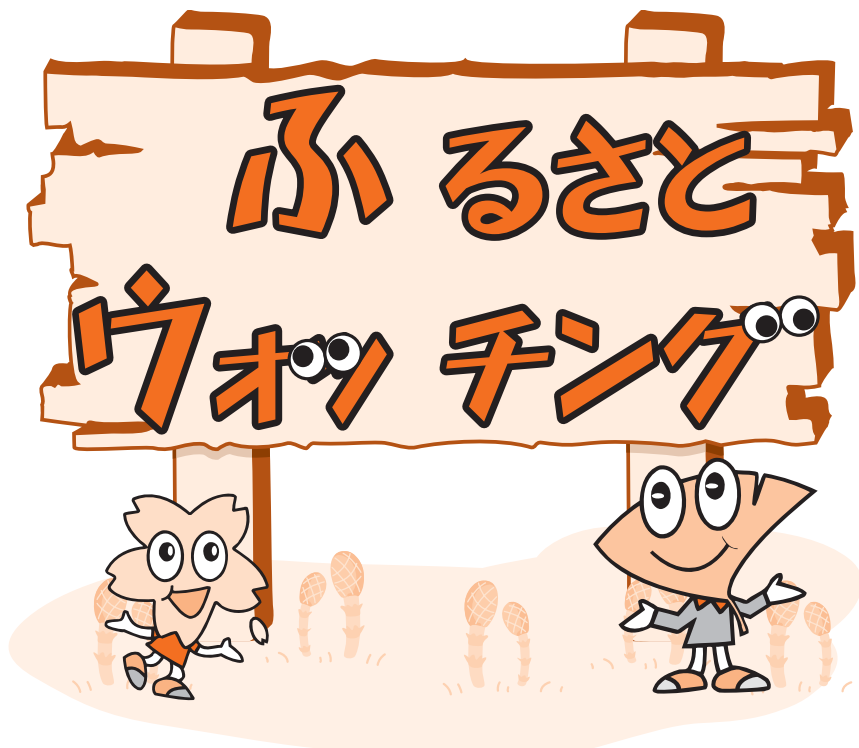
民谷の歌「ありがとう」合唱



民谷分校の全児童



児童による全校劇



11/15

永井隆博士直筆の葉書発見！

故永井隆博士が旧制松江高校時代の恩師である故松原武夫先生に宛てた葉書二通が故人のご家族から永井隆記念館へ寄贈されました。葉書は、昭和22年12月と昭和25年4月に書かれたものです。この葉書の発見によって永井隆博士が高校時代にキリスト教を信仰したきっかけが故松原先生の導きによるものであることが明らかになりました。永井隆記念館の名原久雄館長は、「松原さんのご家族の好意により貴重な葉書を寄贈いただきました。永井隆博士の顕彰に役立てたいので、多くの方にご覧いただきたい」と語っていました。



12/5

福山投手、市長へ報告

シーズンオフで帰省している横浜DeNAベイスターズの福山博之投手が速水市長に今年1年間のプロでの生活を報告しました。福山選手は、「もう少し頑張れると思ったが、来年は、シーズンを通して乗り切れる体力をつけ、1軍に1年間定着し登板を多くしたい」と来年の抱負を力強く語りました。速水市長も「体を壊さないように頑張っていて、子どもたちに夢を与えてほしい。時間があれば、雲南市に帰り、身近なところで子どもたちの見本であってほしい」とエールを送りました。福山選手は、今年入団し、8月に1軍登録され、19試合に主に中継ぎで登板し活躍しました。来年は、1年間通して1軍で活躍されるよう、みんなで応援しましょう。



11/27

おめでとう！三高 演劇部 最優秀賞受賞



広島県尾道市で行われた第49回中国地区高校演劇発表会で「ヤマタノオロチ外伝」を上演した三刀屋高校演劇部が最優秀賞を受賞しました。この結果、来年8月に富山県で行われる全国高校総合文化祭への出演が決まり、堀江依知菜部長は、「中国大会では、他の出場校と一緒に舞台上に立てたことや舞台を見ることができて楽しかった。来年の高校総合文化祭まで期間があるので、演技の粗い部分や、決まっていない細かい所をこれから詰めていって、より良い舞台にしたい」と喜びと来年へ向けた抱負を語りました。

11/27

みんなで和の郷を駆け抜ける



ちびっこマラソン



玉入れ大会

今年で28回目を迎える湯村ジョギングコース駅伝大会が同大会実行委員会の主催により木次町湯村地内で行われ、250人が健脚を競いました。この大会は、駅伝、ちびっこマラソン、ジョギングマラソン、ウォーキングの4つのコースに分かれており、大会に出場した選手たちは、高低差が50メートルもある起伏に富んだコースに苦しめられていました。大会後は、湯村伝統の豚汁がサービス、駅伝に参加したチームなどによる玉入れ大会、ボランティア活動してくれた島根大学生のよさこい踊りが披露され、「和の郷湯村」が活気に溢れていました。

11/26

まち歩き「けんちく体操」

けんちく体操



【願い橋】



【家】



【鳥居】

「まちの面白さを発見しよう」と三新塔あきば協議会と「幸運なんです。雲南です。」体感フェア実行委員会の主催により木次小学校の児童や早稲田大学、島根大学、島根県立大学の学生ら約20名が、まちを歩きながら「けんちく体操（建築物を身体で表現する体操）」を行いました。参加者は2グループに分かれ、木次町のまちを歩きながら「けんちく体操」を通じて地域の方と交流し、普段は気づかないまちの魅力を体感していました。

雲南病院だより



新年のご挨拶



病院事業管理者 松井 謙

新年あけましておめでとうございます。
皆様方にはご健勝で新年をお迎えになられた事とお慶び申し上げます。

まず、昨年3月11日に東日本大震災において、多くの方々が被災され悲しい出来事がありました。本年は被災された方々の復興がいち早く進むことを祈念しております。

昨年、4月1日より「雲南市立病院」として新たなスタートを切りました。地方公営企業法の全部適用となり、病院長の目指す病院像を実現すべく、病院運営を進めています。おかげさまで、今年度の経営状況も当初の見込みより改善され、順調に推移しているところであります。よく言

われまますように健全な経営なくして良質な医療の提供はできませんが、良質な医療の提供なくして健全な経営は成り立ちません。この

命題に全力で取り組んでいきたいと思っております。当院において、ハード面の充実が早急な課題で、新病棟建設に向け関係各位が知恵を出し合い努力をして頂いているところであります。

地域医療は依然として厳しい状況ではありますが、雲南市民のみならず、健康を守るため、職員一同更なる努力をして参ります。

皆様方のより一層のご支援をお願い申し上げますとともに、ご多幸を祈念して新年のご挨拶と致します。



市立病院院長 大谷 順

新年明けましておめでとうございます。皆様方には、さわやかな新春をお迎えのことと心よりお慶びを申し上げます。また、旧年中は、当院に賜りました数々のご厚情とご支援に對しまして、職員一同心より御礼を申し上げます。

さて、平成17年に始まった医療制度改革を契機に、特に高齢者の多い中山間地では公立病院が存亡の危機に晒されています。当院も類にもれず厳しい運営を強いられ、皆様方にはご不便をおかけしているところでございます。昨年は市立化に伴う組織改編、また、いくつかの改革を行いながら職員一同が経営改善に向けての努力をして参りました。下降の一途を辿っておりました常勤医師数が増加に転じた影響も加わり、国の指導のもと策定された公立病院改革プランにはば沿った形で収支改善を図ることができ、漆黒の闇の中に一筋の明るい光が見えてきた感がございます。これもひ

とえに当院を支えて頂いた皆様のお陰と心より感謝を申し上げます。本年は奇しくも辰年、登り竜のごとく右肩上がりの推移をさらに確かなものにして、積年の悲願であります病棟新築に向けて努力邁進をして参ります。老朽化が目立ち利用者の皆様方にご迷惑をお掛けすることも多くなった昨今、一日も早く快適で安全な療養環境を実現したいと思います。

さまざま難条件が重なりあう地域医療には問題が山積しておりますが、その解決には住民の皆様方のご理解とご協力も不可欠であります。私ども市立病院職員一同は、本年も一丸となつて雲南地域の皆様の命と健康をお守りしていく所存でございますので、旧年にもましてご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、本年が皆様方にとりまして素晴らしい一年となりまして素晴らしい一年にお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

第13回「医療の改善活動」全国大会に参加して

検査技術科 山本啓子

昨年の9月から病院全体でQCC (Quality Control) 活動に取り組みことになり、部署ごとにテーマを決めて業務の改善活動を行いました。はじめにQCC活動をするにあたり、自分たちの業務の中で何を改善したいか検査科の全職員にアンケートを取りました。その結果誰もが早急に改善する必要があると感じて

いた「心電図室前の待合混雑を解消する」患者様の待ち時間を短縮しよう、「に決定しました。

これは検査科で直接患者さんと係わる部門なので誰もが期待を胸に取り組みました。2カ月間に渡り待ち時間を調査し、それをグラフ化することで様々な問題点が見つかりました。これらを解決するために意見を出し合い対策を考えました。生理検査室のレイアウトを変え、また呼び出しピンポンを設置し検査に来られたことがすぐに分かるようにしました。関係部署の方々の協力も得て、検査がスムーズに行える様に色々と工夫しました。その結果患者さんの待ち時間が短縮され、目標をほぼ達成しました。

そして3月に院内でQCC活動発表大会があり最優秀賞を受賞、さらに全国大会で発表することになりました。

この大会は、10月28日に山口県岩国市で開催され、全国

から105チーム集まりました。中には東日本大震災に遭った病院の参加もあり素晴らしい発表でした。

私達の発表に対して、「部署を越えたつながり、いわゆる組織横断的な活動が出来ているので、病院の風通しのよさを感じ大変良かった。」と講評して頂きました。

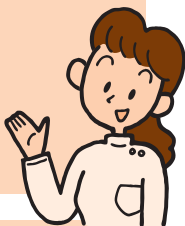
この大会で学んだことは、全国の医療現場で同じように改善活動を行っている仲間たちが大勢いるということ、改善活動では「患者本位の質とは何か」を第一に考えるということでした。

今回は医療従事者側からの意見で活動を行い、患者側からの意見を反映することをしていませんでした。今後は両者の意見を大切にし最善策を見つけ、地域の皆様に信頼され必要とされる病院に、また職員も働きやすい環境に改善できるよう、これからも取り組んで行きたいと思っております。

お知らせ

年末年始の診療体制

年末年始の外来診療は、12月29日から1月3日まで休診日とさせていただきます。なお、救急外来は通常とおり診療を行います。ご協力よろしくお願いいたします。



皮膚科外来診療体制の変更について

医師の異動に伴い、12月20日以降の診療体制は**毎週火曜日と木曜日**となります。大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。



インフルエンザの感染の予防について…

雲南市立病院 感染防止委員会



インフルエンザは例年11月上旬頃から散発的に発生し、その後爆発的に患者数が増加して、1月下旬から2月にピークを迎えた後、急速に患者数が減り、4月上旬頃までに終息します。典型的な症状は、高度の発熱、頭痛、腰痛、筋肉痛、全身倦怠感など全身症状が現れます。

インフルエンザウイルスが人から人へ感染するのはどの様になっているのでしょうか？
インフルエンザウイルスは、インフルエンザにかかっている人のくしゃみ、咳によって小粒子（飛沫）に含まれて周



囲に飛びます。この小粒子は約1メートルの距離であれば直接周囲の人の体（呼吸器）の中に侵入し感染が起こります（飛沫感染）。また、咳、くしゃみ、鼻水などに含まれたウイルスが付いた手で、机、椅子、ドアノブなどを触り、別の人がそのウイルスが付着している部位に触れ、その手で口や鼻を触ることによって

も感染が起こります（接触感染）。感染の多くは、この飛沫感染と接触感染によります。では、インフルエンザにかからないためにはどうすればよいのでしょうか？

まず、流行前のワクチンの接種があります。ワクチンを打てば絶対にかからないというものではありません。このことを簡単に説明しますと、インフルエンザにかかる最初

は、ウイルスが体の中に入ってくるのですが、これをワクチンで防ぐことはできません。体の中に入ったウイルスは細胞に侵入して増殖します（感染）。ワクチンがこの感染を抑える働きも証明されていません。ウイルスが細胞内で増殖すると数日の潜伏期間の後、発熱やのどの痛みなどのインフルエンザの症状が引き起こされます（発症）。ワクチンにはこの発症を抑える効果について一定程度認められています。65歳未満の健康成人では70〜90%の発症予防効果があるといわれています。



また、ワクチンはインフルエンザにかかった時、特に高齢者や基礎疾患のある方では重症化（肺炎や脳症などの合併症）の防止に有効とされています。

次に、外出後の手洗いが重要です。これは、インフルエンザに限らず感染予防の基本です。手洗い・うがいは一般的な感染症の予防にもおすすめです。

流行期には人混みへの外出は控えましょう。やむを得ず外出をする時は、不織布製マスク（市販の紙マスク）の着用も、飛沫等からある程度の感染を防ぐことができるので、ひとつの防衛策として考えられます。ただし、人混みに入るときは極力短時間にしましょう。

また、空気が乾燥すると、どの粘膜の防御機能が低下し、インフルエンザにかかりやすくなります。室内では適度な湿度（50〜60%）を保つことも効果的です。

十分な休養とバランスのとれた食事、体の抵抗力を高めるために日ごろから心がけると良いでしょう。

もし、インフルエンザにかかったら、早めに医療機関を受診し、休養を取りましょう。そして咳・くしゃみなどの症状がある時は、周りの方へうつさないために不織布マスクの着用（咳エチケット）と、無理をせずに、学校や職場などに行かないようにしましょう。

インフルエンザの予防は、皆さんが普通に考えている、ワクチンの接種、手洗い、うがい、マスク、休養と食事などです。これらがインフルエンザの流行期になりますが、1人1人が知識を持てば、予防と感染拡大の防止になると考えます。

看護研究発表会を開催しました

12月3日、平成23年度看護部看護研究発表会を開催しました。この看護研究発表は、「今、提供している看護が、患者さんにとって満足してもらえる看護なのか」という考えから、看護の質の向上と患者さんのQOL（生活の質）の向上を目的とし、長年取り組んでいます。

この看護研究は、島根県立大学短期大学の吉川教授と三島准教授の指導を受け、一年近くをかけて、各部署の代表者が日頃の看護場面から問題をを見つけ研究を行います。



今年の研究の対象は看護部6部署で、研究内容は下記の概要です。会場からは活発な意見や質問があり、また指導頂いた教授は「どの研究も意欲的な取り組みで、各自創意工夫を凝らし、効果や成果はあったと思う」と総括されました。

今後は、この研究の成果を看護の現場に生かし、看護の本質を確立していきたいと思っています。

2階病棟	高齢者を対象とした術前オリエンテーションの見直し ～写真入りパンフレットを使用して～
3階西病棟	ギブス・シーネ固定患者に安楽な下肢挙上枕の作成
3階東病棟	身体拘束開始時の意思決定要因に関する看護師の意識調査
4階西病棟	意思表示のできない患者の膀胱留置カテーテル早期抜去への取り組み ～アセスメントシートを作成・実施して～
1階南病棟	療養型医療施設から退院して在宅介護を受けている患者の主介護者及び入院中の患者の主介護者の介護負担感と肯定感の比較
保健推進課	糖尿病の自己管理行動につながる効果的な指導 ～チェックシートを用いた介入を試みた事例を通して～

展示コーナーのご紹介

12月の展示作品介绍



「寺の庭」 加藤 陽子 様



「ラメール」 嘉本 直子 様



「河口の春」 森山 正治 様



「山佐ダム」 木村 繁香 様



「バラ」 石原 智愛 様



1月で**満1歳**
おめでとう

わが家の**HOPE**



木村 剛さん・佳世さんのお子さん

あつたか
充孝ちゃん (吉田町川手)
平成23年1月7日生まれ
充実したおもしろい人生をほっかほかの
あつたかい心で歩いていこうね。
アツツ大好き♡



石飛伸吏さん・由香さんのお子さん

まなか
愛香ちゃん (大東町幡屋)
平成23年1月17日生まれ
誕生日おめでとう♪
毎日カワイイ笑顔をお願いありがとう♡
いっぱい遊んで元気に育ってネ☆



星野和弘さん・聖子さんのお子さん

あんじゅ
杏珠ちゃん (三刀屋町三刀屋)
平成23年1月25日生まれ
沢山の笑顔をお願い♪これから
もみんな楽しく元気に過ごそうね。
大好きだよ。♪



吉木友和さん・由紀さんのお子さん

ゆずちゃん (大東町山田)
平成23年1月4日生まれ
お誕生日おめでとう♪
いつもニコニコ素敵な笑顔の
ゆずちゃん大好きです。♪



大津田武志さん・和美さんのお子さん

りん
凜ちゃん (大東町西阿用)
平成23年1月4日生まれ
凜としたおめめとクリックリッヘアア
ーがたまらなくカワイイよ♡
素敵な女性に育ってね♪

2月で満1歳(平成23年2月生まれ)のお子さんを募集!

写真に右の6項目の内容を添え、郵便またはE-Mailで
1月6日(金)までに情報政策課へお送りください。

【問】情報政策課 ☎0854-40-1015

郵送される場合のあて先
〒699-1392 雲南市木次町木次1013-1
雲南市役所情報政策課「わが家のホープ」係

E-Mailを送られる場合のあて先
jyouhouseisaku@city.unnan.shimane.jp
(タイトルは「わが家のホープ」としてください。)

- ①お子さんの名前(ふりがな)
 - ②お子さんの誕生日
 - ③ご両親の名前(ふりがな)
 - ④住所
 - ⑤電話番号
 - ⑥コメント(40字程度)
- ※市ホームページにも市報うんなんを掲載します。
※お送りいただく個人情報「わが家のホープ」以外の目的には使用しません。
※郵便物またはメールが届きましたら、情報政策課から「到着確認」の電話をかけます。投稿後、当課からの電話がないときはお問い合わせください。



空き家調査を実施しています

地域振興課 ☎0854-40-1013

雲南市では、市内全域の空き家の実態把握を行うとともに、定住を希望される方に提供可能な物件情報を収集するため空き家調査を実施しています。現在、調査員が空き家登録制度(空き家バンク)に登録可能な物件の建物内部の調査を行っています。ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

※市が不動産取引の仲介をするものではありません。
※調査にあたり、金品の負担を求めることはありません。



こげなことしとーます
研究所
うんなん

このコーナーでは、健康づくりに役立つ
情報や身体教育医学研究所うんなんの活
動についてお知らせします!

島根大学での講義
「健康・スポーツ科学概論」

研究所うんなんの研究員が今年度
から島根大学(松江キャンパス)で
「健康・スポーツ科学概論」という
講義を受け持っています。
法文学部社会文化学科の1年生を
中心としたクラスで10月から12月ま
で毎週水曜日、計8回の講義を行
いました。

講義の内容は、
◇運動で健康になるコツ 健康づく
りと運動の基本とガイドライン
◇ゆりかごから墓場まで ライフス
テージに応じた運動・スポーツ
◇根性論?それとも…心・技・体の
側面から考えるトレーニング概論
などです。講義を受けた学生からは、
「小学生の時に知っていたら良かった

た」「講義で知った内容を、子ども
が出来た時に役立てたい」「将来、
教員になりたいと思ってるので、
部活動を指導するとき講義の内容を
活かしたい。」といった声がありま
した。
学生の中には、もちろん、雲南市
の出身者もいます。研究所うんなん
の活動で明らかになった事実や、研
究所の専門性を生かした知識を若い
世代に伝え、その世代が地元に戻り、
いろんな場でその知識を生かして活
躍してくれる。講義を聞く学生の新
鮮な反応を見ると、そんな未来
が目に見えます。
今年も1年、皆さん元気にお過ご
下さい!



講義風景

握力測定の体験

身体教育医学研究所うんなん
☎0854-4510300

国際交流員(CIR)の迷言コーナー
Hello Everyone

うん、なんでしょう



こんにちは、スザンナです。

私が一番好きな冬祭りはハヌカ
です。アメリカでよく知られている
祭りですが、皆が祝うわけでは
ありません。アメリカの人口のわ
ずか2%を占めるユダヤ教徒の祭りです。

昔々、ギリシアが古代イスラエルを支配した時代
にユダヤ教は禁止されていました。ユダヤ教徒たちは
自分たちの宗教的権利を取り戻すために、戦争を
始めました。長い戦争が終わった後にユダヤ教徒た
ちはまた礼拝の中心地であるエルサレム神殿を支配
するようになりました。でも、神殿を占拠していた
ギリシア軍は聖なる燭台を灯す油の壺をみな破壊し
ていました。灯す油を探すと、1日分だけ残ってい
ました。新しい油を作るのに、8日間かかります。
とりあえず燭台を灯してみると、なんとか8日間燃
え続けました。

ハヌカはその奇跡を記念する祭りで、「光の祭り」
ともいいます。燭台が8日間も燃えていたので、9

本校の燭台を使って(8
日分とその8本を灯す1
本)8日間毎日ろうそく
をともします。

ハヌカの祭りの遊びで使うコマ

そして、油に関連する奇跡だったので、油っこい
食べ物を食べます。ラトクスという揚げたポテトホッ
トケーキが一番人気があります。揚げたドーナツも
かなり人気があります。

食べ物だけでなく、ハヌカの遊びもあります。ド
レイドルというコマを使って遊びます。そのコマにユ
ダヤ教徒が使うヘブライ語の文字が4つ書いてあり
ます。「あそこで奇跡が起こった」という文の頭文字
です。イスラエルでそのコマを買くと、一つの文字
が違って「ここで奇跡が起こった」という意味にな
ります。

ハヌカはクリスマスと時期が重なるので、アメリカで
はプレゼントをあげる習慣も登場しました。8日間子
どもたちは毎日小さいプレゼントをもらいます。

日が短い冬に祝う祭りはクリスマスを初めに、ハ
ヌカや他の祭りも周りを明るくするお祝いが多いで
す。皆さん、日が短くて暗くても、自分で明るくし
て冬を楽しんで下さい。

平成23年度「8020よい歯のコンクール」

80歳になっても自分の歯を20本以上保っている方を対象に「8020よい歯のコンクール」が開催され、全県下121名の応募がありました。雲南市は15名の方が優良賞を受賞されました。

優良賞

町名	氏名	年齢	歯の数	町名	氏名	年齢	歯の数
大東	三原 マチ子 さん	88	32	三刀屋	伊達 久子 さん	85	26
	藤本 五月子 さん	81	31		安部 茂世 さん	82	26
	野々村 安 さん	85	22		妹尾 栄 さん	84	28
	内田 貞善 さん	80	31	吉田	堀江 ミチコ さん	80	23
木次	若槻 貞治 さん	82	29	掛合	藤原 長昭 さん	80	28
三刀屋	高尾 惇 さん	82	24		願永 政栄 さん	88	24
	須山 トヨ子 さん	85	24		原 重徳 さん	81	26
	一村 徳 さん	80	24				



**赤ちゃんの頃から
口の健康づくりを始めましょう!**

生涯を通じてお口の健康が保たれることで、歯ごたえ・舌ざわり・味わいを楽しむことができます。赤ちゃんの頃から発達・発育に応じた「食べる力」を育てましょう。

また、おし歯や歯周病で失われた骨は完全にもとにもどすことはできません。失われた永久歯も二度と生えてきません。小さい頃からの食習慣や生活習慣と歯への心がけが大切です。

雲南市・飯南町事務組合の決算状況報告

問い合わせ先 ● 雲南市・飯南町事務組合 総務課 ☎0854-62-9550 ☎62-9551

雲南市・飯南町事務組合議会10月定例会で認定された平成22年度一般会計・電気通信事業特別会計決算の概要をお知らせします。

【平成22年度一般会計歳入歳出決算内訳】

歳入	
分担金及び負担金	12億7,705万円
使用料及び手数料	4億 903万円
財産収入	11万円
繰越金	7,714万円
諸収入	5,725万円
組合債	3,460万円
合計	18億5,518万円

歳出	
議会費	31万円
総務費	3,916万円
衛生費	5億9,692万円
有線テレビジョン放送費	7億1,377万円
公債費	4億3,577万円
積立金	11万円
合計	17億8,604万円

次年度繰越金 6,914万円

一般会計歳入において69%を占める分担金及び負担金は、雲南市・飯南町からの負担金でした。また、ごみ処理及びケーブルテレビ運営に係る事業から生じる使用料及び手数料は22%となり、両方を加えると歳入の91%を占めています。一方、一般会計歳出においては、衛生費（ごみ処理）が33%、有線テレビジョン放送費（ケーブルテレビ）が40%、公債費（施設整備に係る借金の返済金）が24%となり、この3つの合計は歳出の97%となりました。

電気通信事業特別会計は、インターネット運営事業に係るもので、平成22年度の純利益として3,747万円が計上されました。

《主な事業実施内容》

- 掛合町、吉田町及び飯南町のごみ処理施設として重要な中継点であるいいしクリーンセンターでは、施設機械の経年劣化のため圧縮梱包機を修繕（4,620万円）しました。このことにより、ごみの最終処分を依頼している出雲エネルギーセンターへ確実な搬送が維持できるようになりました。
- 三刀屋斎場では、火葬炉周辺機器の整備工事（562万円）を実施しました。
- ケーブルテレビの雲南市エリアでは、音声告知放送整備事業（7,472万円）を実施し、市内全エリアでの告知放送が可能となりました。また、広島ホームテレビを受信するために三刀屋町へアンテナを設置（494万円）しました。
- ケーブルテレビの飯南町エリアでは、地上デジタル放送受信設備工事（1億7,000万円）を実施し、平成23年度から始まるデジタル放送へ対応するための準備を整えました。

【平成22年度電気通信事業特別会計損益計算書】

(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

歳入	
営業収益	2億 93万円
営業外収益	172万円
総収益	2億 265万円

歳出	
営業費用	1億6,518万円
総費用	1億6,518万円

当年度純利益 3,747万円
前年度繰越利益剰余金 1億4,352万円
当年度未処分利益剰余金 1億8,099万円

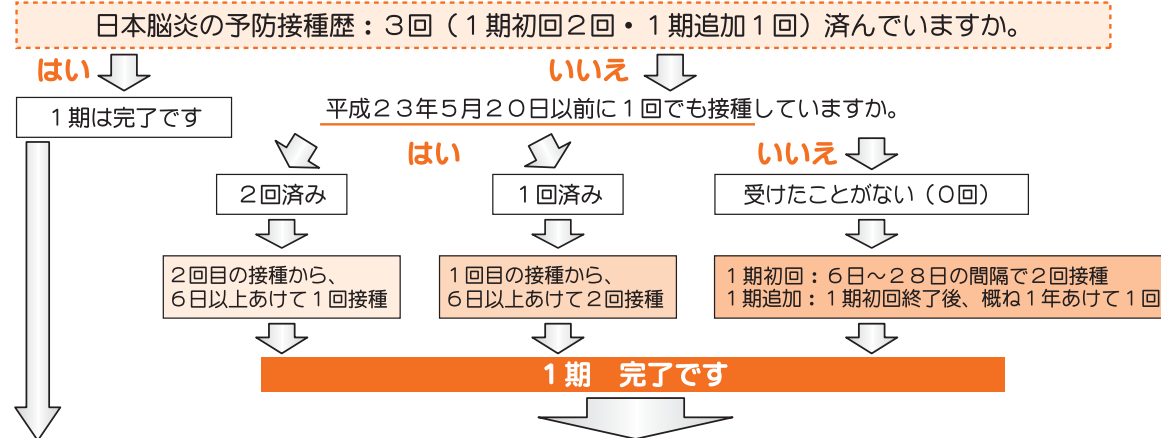
雲南市・飯南町のごみ処理実績の状況（平成16年度～平成22年度）

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	対前年比
排出量合計 (t/年)	11,954.8	11,964.7	12,187.6	11,665.1	11,276.3	10,917.6	10,493.1	96.1%
可燃ごみ	10,072.6	10,001.5	9,990.4	9,808.5	9,519.2	9,205.9	8,844.0	96.1%
資源ごみ	726.4	718.1	727.2	679.4	633.2	589.0	571.7	97.1%
不燃ごみ	927.2	1,000.6	1,181.1	1,014.7	919.6	895.3	842.9	94.1%
粗大ごみ	221.0	238.8	118.7	150.8	186.7	206.1	224.1	108.7%
その他	7.6	5.7	170.2	11.7	17.6	21.3	10.4	48.8%
行政区域内人口(人)	52,364	51,723	51,332	50,414	50,043	49,516	48,826	98.6%
住民一人当たり排出量 (g/人/日)	625	634	650	634	617	604	589	97.5%

雲南市・飯南町内におけるごみ処理の総排出量は平成19年度から減少方向が続いています。このことから、住民一人当たりのごみの排出量も平成22年度には600g/日をきりました。島根県の平成21年度の平均が895g/日ですので、この値よりも306g/日低く抑えられています。

日本脳炎予防接種の受け方 健康推進課 予防接種担当 ☎0854-40-1045

平成23年5月20日から定期的日本脳炎予防接種が一部変更になり、日本脳炎予防接種の機会を逃した方々の接種時期が緩和されています。平成7年6月1日～平成19年4月1日生まれのお子さんは次のチャートを参考にしてください。



2期 9歳以上20歳未満であれば2期の接種ができます。2期は、1期追加接種終了後6日以上の間隔をおいて接種できますが、※通常は1期追加から5年くらいの間隔で接種1回をすることが望ましいとされています。

定期接種	接種時期	接種回数（接種間隔）
1期初回	生後6カ月以上90月未満	2回（6日～28日の間隔）
1期追加	（標準的な接種は3歳から）	1回（初回接種から約1年後）
2期	9歳以上13歳未満	1回

小学校3年生、4年生のみなさんには7月に個別通知を行っています。町ごとに集団接種の状況が異なっていたことと個人の体調等により各自接種回数が異なっています。医療機関に接種を予約される際には、必ず保護者が母子手帳で接種状況を確認してください。

また、接種の際には医療機関に必ず母子手帳を持参してください。母子手帳や予診票が見当たらない場合は接種できませんので、予約前に市役所健康推進課へお問い合わせください。

市役所からのお知らせ

おめでとうございま

技能、後進の指導育成に貢献した功績により
舟木 清さん（加茂町）

認知症の方と家族のついでに
認知症の方とともに暮らす、
地域包括支援センター

要介護認定を受けている方の「税法上の障害者控除」
長寿障がい福祉課
☎0854-40-11042

◎秋の叙勲受章

- 瑞宝中綬章
 - ・法務行政事務功勞により 陶山正春さん（三刀屋町）
 - 瑞宝双光章
 - ・地方自治功勞により 藤原照雄さん（吉田町）
 - 瑞宝単光章
 - ・看護業務功勞により 武田美和子さん（大東町）
 - ・矯正業務功勞により 古山登美夫さん（大東町）

◎叙位受章

- 従六位
 - 教育功勞により 故 内田力男さん（加茂町）

◎総務大臣表彰

- 平成22年国勢調査指導員
 - ・松林貞男さん（木次町）
 - ・平成22年国勢調査調査員 名原英夫さん（三刀屋町）

◎厚生労働大臣表彰

現代の名工
建具製作工として卓越した

◎文部科学大臣表彰

多年にわたり地域の子ども文庫や子ども読書グループ活動、学校での読み聞かせを継続して実施し、地域の子どもの読書意欲の向上に大きく貢献された功績により
掛合町子ども読書連絡協議会代表 石飛由美子さん

◎社団法人全国体育指導委員連合表彰・30年勤続体育指導委員表彰

永年にわたり体育指導委員として地域スポーツ振興に貢献された功績により
加藤 勇さん（三刀屋町）

◎島根県各種功勞者表彰

永年にわたり女性の社会参加促進にご尽力された功績により
渡部 幸子さん（木次町）

◎認定の基準

所得税法及び地方税法の「障害者控除」の市町村長が認定する事項に基づき、次の基準により「障害者控除」または「特別障害者控除」対象者であることを認定します。
※要介護認定を受けていた方が平成23年中途で死亡された場合は、最終の認定状況により判定します。

◎「障害者控除」の対象者

介護度が要介護1～5の認定を受けていて、主治医意見書の「認知症高齢者の日常生活自立度」がⅡa、Ⅱb、Ⅲa、Ⅲbと判定された方

◎「特別障害者控除」の対象者

①介護度が要介護1～5の認定を受けていて、主治医意見書の「認知症高齢者の日常生活自立度」がⅣ、Ⅴと判定された方

◎介護度が要介護3～5の認定を受けていて、主治医意見書の「障害高齢者の日常生活自立度」がB1、B2、C1、C2と判定された方

◎申請受付

総合センター保健福祉課

◎申請の際に必要なもの

印かん、介護保険被保険者証、障害者手帳（お持ちの方）

平成23年度「コミュニティ助成事業」
次の表のとおり各地区で宝くじの助成金を活用して備品の整備が行われました。今回導入されたコミュニティ設備が有効に活用され、自治会・地区活動はもとより地域の親睦、住民の健康増進など集落の活性化につながるものと期待されています。

平成23年度コミュニティ助成事業

事業実施主体	事業内容
八日市地域づくりの会（木次町）	①ブルックテント（3棟）、②ZKテーブル（18台）、③スチールタックチェア（15台）、④物置（1棟）、⑤音響機器（一式）、⑥プロジェクター（1台）、⑦スクリーン（1台）、⑧ビデオカメラレコーダー（1台）、⑨エンジン刈払機（3台）、⑩ベンチ据置型（2基）、⑪アクティブコート（20着）
中野の里づくり委員会（三刀屋町）	①高速デジタル孔版印刷機（1台）、②プロジェクター（1台）、③除雪機（1台）、④複合複写機（1台）
掛合自治振興会（掛合町）	①除雪機（2台）



八日市地域づくりの会の物置



中野の里づくり委員会の印刷機

コミュニティ助成事業とは

（財）自治総合センターが宝くじの普及広報事業として受け入れる受託事業収入を財源として、自主組織等コミュニティの健全な発展を図るため、コミュニティ組織等が実施する施設や設備の整備に対して補助を行うものです。

1月の古紙回収

市民環境生活課

☎0854-40-11033

ゴミを減らし、限りある資源を大切にしましょう。リサ

町	持ち出し日	持ち出し場所
大東町	1月15日 第3日曜	大東町体育文化センター、春殖交流センター、駅前公民館、幡屋リサイクルボックス、佐世交流センター、西阿用集会所下倉庫前、阿用交流センター、下久野リサイクルボックス、久野交流センター、海潮交流センター、須賀リサイクルボックス、塩田交流センター
加茂町	1月8日 第2日曜	自治会単位
木次町	1月15日 第3日曜	斐伊体育館東側ゲートボール場隣駐車場、西日登交流センター、温泉交流センター、日登交流センター、雲南市役所職員駐車場
三刀屋町	1月8日 第2日曜	三刀屋総合センター裏、一宮交流センター、飯石交流センター、鍋山交流センター、中野交流センター、根波生活改善センター

イクルにご協力ください。
・回収品目 古紙（ダンボール・雑誌類・新聞紙・広告チラシ）
・品目ごとに紐でくくる
・一絡みは10kg以内
・持ち出しは当日のみ
吉田町、掛合町の古紙回収は今までどおりです。

今月の税金

- 個人市県民税(第4期)
- 国民健康保険料(第7期)
- 後期高齢者医療保険料(第7期)

納期限は
1月31日(火)

【日時】
1月16日(月)
午後1時半～午後3時

【場所】
加茂健康福祉センター
掛合健康福祉センター
ご都合の良い会場へお出かけください。
※申込みは不要です。

介護保険の要介護認定を受けている方は、平成23年12月31日現在の認定状況により、所得税法及び地方税法上の障害者控除が受けられる場合があります。
対象となる方には認定証を発行しますので、所得税の確定申告及び住民税の申告の際に認定証を提示してください。
1級または2級と判定された身体障害者手帳をお持ちの方は、「特別障害者控除」が受けられることがありますが、身体障害者手帳を提示のうえ、ご相談ください。

県営住宅入居者募集

業務管理課

☎0854-40-11061
島根県住宅供給公社
松江住宅管理事務所
☎0852-223400

県営住宅（空き室）の入居者を募集します。家賃などは問い合わせください。

【募集団地】

上郡団地（掛合町）
2戸（3DK）

【応募受付期間】

1月4日（水）～

1月18日（水）必着

【抽選】

2月上旬

【入居予定】

2月下旬

フォークリフト・トラック等のナンバー登録はお済みですか？

税務課

☎0854-40-11034

小型特殊自動車（フォークリフト、シヨベルローダ等）や農耕作業用車（トラクター、コンバイン、田植え機等）の所有者は、公道を走行する、しないに関わらず、申告及び軽自動車税の納税義務があります。

新規で購入された方、既に

所有しているナンバーの付いていない車両をお持ちの方は、車両情報(メーカー、車台番号、型式、年式等)を分かるようにして、速やかに税務課または総合センター窓口にて申告してください。ナンバーは即日交付します。

【課税対象となる小型特殊自動車】
・最高速度が15km以下のもの
・車両の長さ4.7m以下、幅1.7m以下、高さ2.8m以下のもの

【課税対象となる農耕作業用車】
・最高時速が35km未満のもの
・運転席があるもの(運転席の無い、手押し式のもの対象外です。)

うんなん 家庭の日

1月11日～31日は、「うんなん家庭の日」普及実践強調月間です。

1月15日

社会教育課 ☎0854-40-11073

【年税額】
小型特殊自動車 4,700円
農耕作業用車 1,600円

※事業所や集落、農業法人などの所有する車両も対象になります。
※廃車の場合も届出が必要で、(印鑑とナンバーをお持ちください。)

※所有者となった日から15日以内に市へ申告することが義務付けられています。正当な理由なく申告をしなかった場合、3万円以下の過料が科せられます。

家を取り壊したときは速やかに届けましょう

税務課 ☎0854-40-11034

平成23年中に建て替えや移転などのため、建物を取り壊した方は2月末までに届け出てください。

毎年1月1日(賦課期日)現在に所有されている土地、家屋、償却資産が固定資産税の課税対象となります。登記または届け出を忘れると、実際には存在しない家屋の固定資産税を納め続けることとなります。

取り壊した建物が登記されている場合
法務局で速やかに滅失登記をしてください。この登記をされれば市役所への届出は不要です。

未登記の場合
市役所税務課または総合センターの窓口で家屋滅失届に記入して届けてください(認印をご持参ください)。

「うんなん家庭の日」キャッチフレーズ募集

雲南市青少年育成協議会 ☎0854-40-11073

現在、「子どもと一緒に語ろう!食べよう!汗しよう!」をキャッチフレーズに「うんなん家庭の日」を推進していますが、子どもがいる家庭に限らず、地域全体で子どもを育てたいという思いから、新しいキャッチフレーズを募集します。

【応募資格】
雲南市内にお住いの方

【応募方法】
応募用紙を交流センターまたは図書館に設置している募集中に投函ください。郵送やFAXでも応募できます。応募用紙は、交流センター

又は図書館にあります。
【募集期間】
平成24年1月11日(水)～31日(火)

雲南市青少年育成協議会(雲南市教育委員会社会教育課)
☎0854-40-11073
☎0854-40-11029
雲南市木次町木次10131

【問い合わせ先】

コミュニティ助成事業

雲南消防本部 予防課 ☎0854-40-0139

(財)自治総合センターが行うコミュニティ助成事業で雲南防火委員会(雲南消防本部)が推薦した2つのクラブに宝くじ助成金で整備した和太鼓や軽可搬消防ポンプなどが贈られました。今回贈られた資器材を活用し、今後も地域内で防火、防災の普及啓発に役立つものと期待されます。

吉田保育所幼年消防クラブは、平成7年に結成後、消防庁舎見学や放水体験などを行い、幼児期から防火・防災教育を行っています。
久野女性防火クラブは、昭和60年に結成後、防火座談会や家庭防火診断などを行い、家庭における火災予防の普及啓発とクラブ員同志の連携意識の強化を図っています。



火災太鼓を披露する吉田保育所園児たち



目録を受取る久野女性防火クラブ会長藤原こずえさん

「経済の国勢調査」です。全国すべての企業・すべての事業所が対象です。
平成24年 2月1日(水)
経済センサス 活動調査
島根県・雲南市

下水道への接続を!

水道局 下水道課 ☎0854-42-3471

雲南市では下水道に接続できるようにしてから、生活雑排水は1年以内、便所は3年以内に接続をするようになっています。下水道に接続することで、河川や海がきれいになります。美しい自然環境を守り、より豊かな生活環境を築くため、積極的に下水道に接続しましょう。

水道管の凍結に注意ください

水道局 営業課 ☎0854-42-5322

気温がマイナス3℃以下になると水道管が凍結し、水が出なくなったり水道管が破裂する恐れがあります。家周りの水道を点検し、防寒対策をしましょう。

凍結防止対策

☆庭先の水栓柱には、布を巻き、その上にビニール袋などをかぶせ保温しましょう。水抜き栓をとりつけることも有効です。
☆外壁露出水道管は、発泡スチロール製の保温剤や凍結防止ヒーターなどを巻いて、保温・防護しましょう。
☆長らく留守にする時は、止

を受け取っていた方も含め全ての方について申請が必要です。認定請求書をまだ提出しておられない方は、3月までに早めに手続きしてください。
なお、次回の手当の支払いは2月となっております。1月10日以降に認定請求された場合は、2月の定期支払いに間に合いませんのでご注意ください。

◆1月23日(月)

三刀屋交流センター

◆3月19日(月)

大東総合センター

時間は、いずれも午前10時から午後4時までです。

子ども手当の申請はお済ですか?

市民環境生活課

☎0854-40-11031

制度改正により、平成23年10月から子ども手当を受け取るためには、これまで手

英会話を通じた国際交流 国際交流員スザンナ・デビッドソンによる英会話教室

参加者募集

1月に新しい講座がスタートします。皆さんのご参加をお待ちしています。

【と き】1月17日(火)から毎週火曜日 (3月末まで全10回を予定)

【場 所】三刀屋交流センター

【内 容】初心者コース(基礎から勉強したい方)

時間 19:00~20:00

イギリスの詩「マザーグース」を使って勉強します

中級・上級コース(多少の英会話ができる方)

時間 20:10~21:10

【受講料】1,000~1,500円程度(会場使用料10回分)

【対 象】原則高校生以上の雲南市民

【募集定員】各コース 16人(応募者多数の場合は先着順)

【申込締切】1月10日(火)

【申込み・問い合わせ】地域振興課 ☎0854-40-1014

道路の除雪にご協力お願いします!!



今年も積雪の季節となりました。積雪状況により除雪作業を行いますが、除雪をよりスムーズに行うために、下記の点についてご理解とご協力をお願いします。

- ・ 自動車の路上駐車及び資材等の放置は絶対にしないでください。
- ・ 除雪車通過後の私道等の出入口の雪は、皆さんのご理解と排雪にご協力ください。
- ・ 「道の駅」や除雪車回転場への長時間の駐車はご遠慮ください。
- ・ 積雪で道路へ立木等が垂れ下がる場合は、事前に伐採をお願いします。立木等で除雪に支障が生じた場合、やむを得ずこちらで取り除くことがありますのでご了承ください。
- ・ 側溝へ投雪した場合は、作業後必ずすみやかにフタを元通りにしてください。
- ・ 除雪は夜間・早朝に行う場合がありますので、外出時は、反射タスキ等の反射材を着用してください。
- ・ 除雪作業は、国道、バス路線など主要幹線道路を優先して行います。

問い合わせ



国土交通省頓原維持出張所 ☎(0854)72-0004
 HPアドレス: <http://www.matsukoku-mlit.go.jp/tonbara-iji>
 島根県雲南県土整備事務所維持グループ ☎(0854)42-9601
 雲南市建設部業務管理課 ☎(0854)40-1061

- ・ 大東総合センター事業管理課 ☎(0854)43-8166
- ・ 加茂総合センター事業管理課 ☎(0854)49-8603
- ・ 木次総合センター事業管理課 ☎(0854)40-1082
- ・ 三刀屋総合センター事業管理課 ☎(0854)45-2113
- ・ 吉田総合センター事業管理課 ☎(0854)74-0213
- ・ 掛合総合センター事業管理課 ☎(0854)62-0300



くらしの消費生活窓口

海外から 高額な賞金が!?

<トラブル事例> 数日前、海外からエアメールが届いた。「夢の高額賞金獲得チャンス!」「当選の可能性が完全認証済みです!」と記されている。事務手数料7,000円を支払い「賞金獲得エントリー申込書」に署名して10日以内に返送すると、賞金2億円がもらえるかのように書かれている。信用できるか。

<アドバイス> 最近、この事例のような相談が増えています。これらの手口の特徴は、ダイレクトメールがエアメールで届くこと、高額な賞金がもらえるかのような通知であること、「事務手数料」「登録手数料」などの名目で、数千円から数万円をクレジットカードや郵便為替で支払わせようとしていることなどです。海外宝くじに当選したとあって、受け取り手数料を請求したり、海外宝くじの購入を勧誘する手口もありますが、日本国内で「海外宝くじの授受や販売、販売の取次ぎをすること」は、刑法に抵触する可能性があります。

手数料やクレジットカード番号などの情報を入手することが目的のように思われます。そもそも身に覚えのない事業者から、うまい話が舞い込むはずがありません。決して安易に対応しないことが大切です。

<被害に遭わないためには...> このような通知が届いたとしても無視し、応募しない。いったん応募すると、さらに複数の業者から大量のダイレクトメールが送られてきたり、個人情報などが漏れたりする危険性があります。クレジットカード番号などの情報を教えないことです。

相談は 雲南市消費生活センター ☎0854-40-1123

戦後強制抑留者の皆様へ

市民環境生活課
 ☎0854-40-1031
 シベリア戦後抑留者に対する特別給付金を支給します。

【対象者】
 旧ソ連邦又はモンゴル国の地域における戦後強制抑留者で、平成22年6月16日に日本国籍を有するご存命の方です。(特別措置法施行日(平成22年6月16日)以降に亡くなられた方の相続人は請求できませんが、施行日前に亡くなられた方のご遺族等は、対象となっております。)

【請求期間】
 平成24年3月31日までです。まだ請求されていない方はお急ぎください。請求期間内に特別給付金の支給請求をしなかった場合には、支給されません。

【問い合わせ先】(資料請求先)
 独立行政法人
 平和記念事業特別基金事業部特別給付金認定担当
 ☎0570-059-204
【受付時間】
 平日:午前9時~午後6時
 (土日祝日はご利用できません)

※すでに特別給付金を支給された方は、再度の請求はできません。

島根県小児救急電話相談(#8000)

健康推進課

☎0854-40-1045

「#8000」は、休日・夜間の急な子供の病気にどう対処したらよいかなど電話で相談できるサービスです。島根県内のどこからでも、短縮電話番号(#8000)をプッシュすると、相談事業者の窓口へ転送され、小児科医師、看護師、保健師から症状に応じた適切な対処の仕方や受診する病院等のアドバイスが受けられます。

【利用できる時間帯】

平日:午後7時から

午後11時まで

土日祝日:午前9時から

午後11時まで

「#8000」で電話できない場合は、03(3478)1060にダイヤルしてください。

※ダイヤル回線及び一部IP電話等をご利用の場合は、転送サービスが利用できません。

雲南市土地改良区の総代決まる

土地改良区の合併に伴う雲南市土地改良区総代選挙は、定数どおり(総数60人)の立候補の届出があり、次のとおり決定しました。

雲南市土地改良区総代(敬称略)

【任期:平成27年11月21日まで】

総代氏名	住 所	総代氏名	住 所	総代氏名	住 所
新 田 和 徳	大東町小河内	内 部 武 雄	加茂町砂子原	千 原 孝 美	三刀屋町三刀屋
錦 織 保 夫	大東町上佐世	濱 村 享 亨	加茂町立原	山 根 貢 男	三刀屋町給下
上 代 勤	大東町養賀	岡 幸 一郎	加茂町延野	坂 田 好 民	三刀屋町伊堂
小 村 治 幸	大東町幡屋	飯 塚 稔 稔	加茂町猪尾	若 槻 繁 雄	三刀屋町粟谷
加 藤 一 郎	大東町遠所	渡 部 幹 幹	加茂町東谷	後 藤 正 正	三刀屋町多久和
安 立 彰	大東町下久野	高 木 真 祝	加茂町神原	秦 美 幸	三刀屋町里坊
野々村 幹 雄	大東町大東下分	佐 藤 修 修	加茂町三代	内 田 郁 夫	三刀屋町殿河内
村 上 碩 男	大東町南村	本 常 章 一	加茂町近松	朝 山 昇 昇	三刀屋町中野
林 一 夫	大東町下佐世	安 部 武 良	木次町宇谷	瀧 章 義	三刀屋町六重
岩 田 博 志	大東町北村	周 藤 昭 善	木次町東日登	安 井 響 響	三刀屋町乙加宮
内 田 宣 男	大東町仁和寺	高 野 皓 生	木次町平田	松 島 敏 夫	吉田町曾木
錦 織 義 美	大東町大ケ谷	佐 藤 浩 浩	木次町寺領	白 築 進 進	吉田町吉田
加 藤 健 司	大東町畑鴨	田 中 隆 吉	木次町下熊谷	柳 樂 勇 勇	吉田町川手
藤 原 實 實	大東町金成	周 藤 喜 好	木次町西日登	須 山 耕 二	吉田町民谷
錦 織 憲 雄	大東町岡村	多 根 章 生	木次町里方	石 飛 榮 一	掛合町掛合
塩 野 積 積	大東町薦澤	廣 野 文 夫	木次町寺領	岡 田 稔 稔	掛合町掛合
別 所 修 修	大東町川井	大 坂 敏 行	木次町西日登	加 藤 洋 二	掛合町多根
高 橋 義 昭	大東町篠淵	難 波 滋 滋	木次町湯村	高 尾 正 男	掛合町松笠
別 所 正 暢	大東町飯田	山 崎 喜 昭	三刀屋町三刀屋	漆 谷 昌 二	掛合町波多
黒 目 眞 眞	大東町田中	陶 山 正 正	三刀屋町古城	坪 倉 千 尋	掛合町入間



子育て支援センター などのスケジュール

だいたう	教室・相談	子育て相談 あおぞら 13日(金)、27日(金) 10:00~16:00 育児相談 大東健康福祉Cおおぎ 19日(木) 9:30~11:00 テーマ別わらべうた教室 大東健康福祉C 25日(水) 9:30~11:30
	子育てサロン	木馬 おおぎ 毎週火・木曜日 9:30~15:30 ぼっぼ 佐世交流C 5日(木) 9:30~11:30 ほかほかひろば 幡屋交流C 6日(金) 9:30~11:30 うしお 海潮交流C 13日(金) 9:30~11:30
	地域サークル 9:30~11:30	幡屋交流C 16日(月)、 佐世交流C 19日(木) 大東健康福祉C 20日(金)
	保育園 開放日	大保 毎週水曜日(給食試食の予約:前日16:00まで) かもめ 毎週金曜日(給食試食の予約:前日16:00まで) あおぞら 毎日(給食試食は金曜日のみ、試食の予約:当日9:00まで)
かも	子育てサロン 10:00~	つくしっ子広場 かも 毎週水曜日 11日、18日(みんなでランチ)、25日(誕生会) ぶちつくしっ子広場 かもてらす 27日(金)(お抹茶会)
	支援センター	りんごちゃん広場&育児相談 16日(月) 10:00~
きすき	支援センター きすき	ミュージックケア(2歳以上、要予約) 13日(金) 10:15~ 誕生会(誕生児は要予約) 19日(木) 10:30~ おはなし会 24日(火) 10:30~ ママのリフレッシュ講座(要予約) 26日(木) 9:30~
	出前保育	西日登交流C 11日(水) 10:00~12:00
	教室・相談 きすき	ベビーマッサージ(10ヵ月未満要予約) 17日(火) 10:00~ 幼児食講習(要予約) 20日(金) 9:30~ 育児相談 27日(金) 9:30~11:00受付
	社協子育てサロン 10:00~12:00	にこにこクラブ(参加費 一家族100円) 日登交流C 18日(水)
みとや	支援センター みとや	育児相談 16日(月) あそぼう広場(おりがみあそび) 20日(金) 10:00~
よしだ	保育所開放日	よしだ 10日(火)、 たい 18日(水)
	あいあいクラブ	雪だるまづくり&雪がっせん&ミニスキー 18日(水)
かけや	保育所開放日 夢の子	昼食試食会 要予約・締切 11日(水) 18日(水) 11:00~12:00 保育所開放日 4日(水)・6日(金)・10日(火)・18日(水) 9:00~11:00
	支援センター 分室・併合体育館	子育て相談日 分室 11日(水) 9:30~11:00 初釜の会 分室 25日(水) 9:30~11:00
大保 : 大東保育園 ☎43-6132 かもめ : かもめ保育園 ☎43-3010 あおぞら : あおぞら保育園(大東子育て支援センター) ☎43-9500 おおぎ : 地域福祉センターおおぎ ☎43-5610 かも : 加茂子育て支援センター ☎49-6723 かもてらす : かもてらす(社協加茂支所) ☎49-7306 きすき : 木次子育て支援センター(斐伊保育所併設) ☎42-2030 社協木次支所 : 雲南市社会福祉協議会木次支所 ☎42-9080 みとや : 三刀屋子育て支援センター ☎45-9500 よしだ : 吉田保育所 ☎74-0330 たい : 田井保育所 ☎75-0201 夢の子 : かけや夢の子園 ☎62-9900 好老C : 好老センター ☎62-0727 Cはセンター、市外局番はいずれも0854 ※内容が変更される場合があります。詳細は、各センターにお問い合わせください。		

図書館だより

大東図書館 ☎0854-43-6131

1月の休館日 毎週金曜日、1日(日)~3日(火)、9日(月)、31日(火)

イベント案内
 ☆こぐまちゃんくらぶ 毎週月曜日 10:30~
 (わらべうた遊びの会 対象:乳幼児と家族の方)

新着の本(抄) ▼宇江佐真理「古手屋喜十為事覚え」▼垣根涼介「人生教習所」▼加藤 廣「神君家康の密書」▼桐野夏生「緑の毒」▼今野 敏「転迷」▼新堂冬樹「硝子の鳥」▼高橋誠之助「神様の女房」▼辻村深月「水底フェスタ」▼津本 陽「伊賀忍び控え帖」▼中山七里「妻介義探偵の事件簿」▼畠中 恵「こいわすれ」▼東野圭吾「マスカレード・ホテル」▼百田尚樹「プリズム」▼湊 かなえ「境遇」▼宮部みゆき「おまえさん」▼山本一力「花明かり」▼柴田ヨ「百歳」▼鎌田 實「ここから」▼田辺聖子「上機嫌の才能」▼浦野晴美「妊娠中の食事と栄養」▼梶山静夫「食べる順番変えるだけダイエット」▼「育てる調べる山野草2525種」▼川島永嗣「準備する力」

木次図書館 ☎0854-42-1021

1月の休館日 毎週月曜日、1日(日)~3日(火)、10日(火)、31日(火)

イベント案内
 ☆よみかたりのじかん 毎週木曜日 14:30~

新着の本(抄) ▼東川篤哉「謎解きはディナーのあとで②」▼鳥越 碧「建礼門院徳子」▼山本一力「花明かり」▼恩田 陸「夢違」▼小川 糸「あつあつを召し上げれ」▼山田太一「読んでいない絵本」▼綿矢りさ「かわいそうだね?」▼火坂雅志「真田三代⑤」▼柚月裕子「検事の本懐」▼丸谷オー「持ち重りする薔薇の花」▼葉室 麟「鯛ノ記」▼道尾秀介「水の枢」▼江國香織「金平糖の降るところ」▼福井晴敏「震災後」▼三浦朱門「老年の流儀」▼佐藤愛子「これでおしまい」▼野坂昭如「しぶとく生きる」▼やなせたかし「絶望の隣は希望です!」▼藤堂志津子「独女日記」▼林 望「臨終力」▼高橋昌明 編「平 清盛」▼ウォルター・アイザックソン「ステープ・ジョブズ①②」▼下 ヨシ子「幸せの種」▼西川善文「ザ・ラストバンカー」▼上大岡トメ、上大岡アネ「生き延びるための地震学」▼竹浪正造「はげましてはげまされて」▼川浦良枝「しばわんこの四季の庭」▼水谷 修「夜回り先生いのちの授業」▼有元葉子「母から娘へ伝える暮らしの流儀」▼高澤 等「家紋歳時記」▼和田静香「コンビニ店員は見たっ!」▼養老孟司、小島慶子「絵になる子育てなんかない」▼天野勝美、天野麻里絵「自分でつくるおしゃべり小さな庭」▼岩佐政穂「俳画の12ヶ月」

加茂図書館 ☎0854-49-8739

1月の休館日 毎週木曜日、1日(日)~3日(火)、31日(火)~2月9日(木)は特別整理のため休館します。

イベント案内
 ☆おはなしチューリップ たのしい絵本の会 1月21日(土) 14:00~
 新年あけましておめでとうございます。今年も加茂図書館をよろしくお願いたします。

『ばばあちゃんのおもちつき かがくのとも傑作集』 さとう わきこ:作 佐々木 志乃:協力 福音館書店:刊
 1月はお餅をたくさん食べる月ですね。この絵本では、ばばあちゃんが子供たちと、身近な道具でお餅をつきます。子供たちは料理をするのが大好きで、いろいろな味のトッピングを作ります。ばばあちゃんたちのように、作ってみるのも楽しそうです。

『しずかに!ここはどうぶつのとしょかんです』 ドン・フリーマン:作 ながわ ちひろ:訳 B.L出版:刊
 動物の本を読んでいた図書館の好きな女の子カーリーナが、自分が図書館の人だったらと、空想を始めました。「動物だって本が読みたいかもしれない」そこで、カーリーナは動物が図書館に来られる日を作ることにしました。さて、カーリーナの図書館にどんな動物たちがやってきたでしょうか。

平成24年度から適用される個人市県民税の改正内容

税務課 ☎0854-40-1034

1. 扶養控除の見直し

- (1) 15歳以下の扶養控除(年少扶養控除) 33万円が廃止されます。
- (2) 16歳以上18歳以下の扶養控除の上乗せ分12万円が廃止され、45万円(特定扶養控除)から33万円(一般扶養控除)になります。

市県民税の扶養控除イメージ図

	上乗せ部分 12万円 〈廃止〉	特定扶養控除 45万		同居老親加算 7万円
一般(年少) 扶養控除 33万円 〈廃止〉	一般扶養控除 33万円		一般(成年) 扶養控除 33万円	老人扶養控除 38万円
(~15歳)	(16歳~18歳)	(19歳~22歳)	(23歳~69歳)	(70歳~)

※年少扶養控除は廃止となりますが、その方が障害者である場合には障害者控除が従来どおり適用できます。
 ※所得税は平成23年分から、市・県民税は平成24年度から適用されます。
 ※市・県民税の非課税限度額の算定には年少扶養親族も含めた扶養親族の人数が用いられますので、所得税の確定申告書内にある住民税に関する扶養親族の記載欄には、15歳以下の扶養親族の方について必ず記載してください。
 ※職場等に提出する扶養親族等申告書の記入欄にも必ず記入してください。

2. 肉用牛の売却に係る農業所得の課税の特例措置の延長

肉用牛の売却に係る農業所得の課税の特例は、次のとおり改正され、その適用期限が平成26年分まで延長されました。

- (1) 免税対象飼育牛の売却頭数の上限が2,000頭から1,500頭に引き下げられました。
- (2) 免税対象飼育牛の対象範囲から売却価格80万以上の交雑牛が除外されました。

なお、この改正は、平成24年分以後の所得税について適用されます。
 ※肉用牛の販売金額から経費を差し引き、黒字となったとき、その売却益に係る部分の所得税と市県民税が免除されるものです。
 ※この特例措置は所得税と市県民税のみで、国民健康保険料等の算定にあたっては免税所得も含めて計算します。
 ※肉用牛の売却益(黒字)があるときは売却証明書を添付のうえ農業所得の申告をしてください。

3. 寄付金控除の改正

寄付金控除の適用下限額が5,000円から2,000円に引き下げられました。
 ※東日本大震災に対する寄付金は、被災地の県や市町村に直接寄付したもののほか、日本赤十字社や中央共同募金会に東日本大震災義援金として寄付した場合も、県や市町村に寄付した場合と同様にふるさと寄付金として取り扱われます。

4. その他

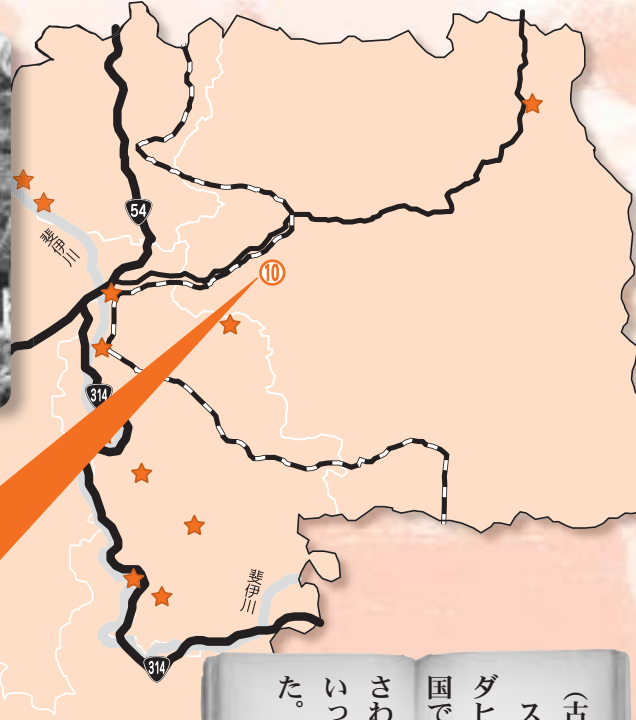
所得税・市県民税の申告相談は、平成24年2月16日(木)から3月15日(木)です。詳しい日程は、1月下旬に全戸配布するチラシにてお知らせします。

大東町下佐世地内の白神山に鎮座する佐世神社は、出雲國風土記に記載される「佐世社」であるといわれており、主祭神としてスサノオノミコト(クシナダヒメ)を祀っています。

社伝によれば、ヤマタノオロチを退治したスサノオノミコトが須賀の地に向かう途中、白神山に立ち寄り舞を舞われたところ、頭に挿していた木の枝が地面に落ちたので、それを拾おうとしたクシナダヒメに対し、落ちた木の枝をその地に「サセ」といわれたことから、佐世という地名になったと伝えられています。境内にはその枝が成長したといわれる「佐世の木」(シイの巨木)が残ります。

また、出雲國風土記には、スサノオノミコトが「佐世の木」を頭に挿して踊っているときに、その枝が地に落ちたことから「佐世」という地名になったとされています。

⑩ 佐世神社



《アクセス》

- 自家用車
松江自動車道三刀屋木次ICを下りて、国道54号を加茂方面へ進み、約2km先の変則交差点を右折(県道松江木次線)。道なりに約4.9km進み佐世簡易郵便局前の点滅信号を右折、約0.7km先の神代公会所を左折し、山道を上ると目的地周辺に到着。所要時間 約16分
- 市民バス
佐世線に乗車すると、「佐世小学校入口」停留所で下車、徒歩6分(約500m)で目的地に到着。



【問い合わせ】商工観光課 ☎0854-40-1054

ヤマタノオロチ退治の舞台・雲南を巡る

(古事記より)
スサノオは、クシナダヒメに、この出雲の国で宮殿をつくるにふさわしい土地を探しにいつてくると告げました。(つづく)

【問】健康推進課 ☎40-1045

1月の検診・教室 など

◆育児相談		
掛合子育て支援センター	11日(水)	9:30~
三刀屋子育て支援センター	16日(月)	
加茂子育て支援センター	19日(木)	
地域福祉センターおおぎ	27日(金)	
木次子育て支援センター	27日(金)	
◆離乳食教室		
加茂健康福祉センター	24日(火)	9:30~
◆両親学級 参加料:500円		
加茂健康福祉センター	28日(土)	14:00~16:00

◆乳幼児健診			
乳児健診	大東・加茂地区の方	大東健康福祉センター	5日(木) 13:00~(4カ月児) 13:30~(10カ月児)
	木次・三刀屋・吉田・掛合地区の方	木次健康福祉センター	12日(木) 13:00~(4カ月児) 13:30~(10カ月児)
幼児健診	大東・加茂地区の方	加茂健康福祉センター	18日(水) 13:00~(1歳6カ月児) 13:30~(3歳児)
	木次・三刀屋・吉田・掛合地区の方	三刀屋健康福祉センター	26日(木) 13:00~(1歳6カ月児) 13:30~(3歳児)

◆断酒会		
田井交流センター	5日(木)	19:00~21:00
大東交流センター	10日(火)	
下熊谷交流センター	16日(月)	
掛合まめなかセンター	18日(水)	
三刀屋健康福祉センター	31日(火)	

◆健康体操教室				
健康体操	加茂健康福祉センター	6日(金)	9:30~10:00	
		13日(金)		
3日体操		16日(月)		13:30~15:00
		30日(月)		

献血

【問】市民環境生活課 ☎40-1031
皆様のご協力をよろしく申し上げます。

加茂総合センター	19日(木)	9:00~10:30
山光(株)		12:00~12:50
(株)明和		14:00~15:00
加茂健康福祉センター		15:45~17:00

◆その他相談		
こころの健康&もの忘れ相談(予約制)	11日(水)	13:00~14:30
【問】雲南保健所 ☎42-9642		
雲南サロン「陽だまり」	12日(木)	10:00~15:00
【問】雲南保健所 ☎42-9638	26日(木)	
アルコールによる困りごと相談(予約制)	16日(月)	13:00~14:30
【問】雲南保健所 ☎42-9642		
交通事故巡回相談	出雲市役所	19日(木) 9:00~15:00
【問】交通事故相談所 ☎0852-22-5102		
巡回児童相談(予約制)	かもてらす	19日(木) 10:00~16:00
【問】出雲児童相談所 ☎0853-21-0007		

※内容、場所、日時の順に記載。市外局番は記載のないものはいずれも0854。

応募方法

◆手紙の内容(テーマ)
「日頃の感謝」

◆手紙の提出等
応募用紙は、交流センターまたは図書館にありますので、必要事項を記入のうえ、備付けの募集箱にご投函ください。

◆募集期間
平成24年1月11日(水)~31日(火)

◆問い合わせ先
雲南市青少年育成協議会
☎0854-40-1073

日本一短い「感謝」の手紙募集

日本一短い「感謝」の手紙 16

今回は身近な大人の人たちへ送る手紙を紹介します。

近所のみなさんへ
朝、私が登校しているときに「頑張ってるね。」など、たくさん声をかけてくださってありがとうございます。とてもうれいいます。

読み語りのみなさんへ
おいそがしい中、読み語りに来てくださってありがとうございます。おもしろい本を読んでくださってありがとうございます。

放課後子ども教室のスタッフさんへ
いつも、わたしたちが、けがをしないようにみていてくださったり、あそんでくださってありがとうございます。



平成24年雲南市消防出初式

1月8日(日)

式典 9:30～ 一斉放水 11:00予定

三刀屋文化体育館 アスパル

【問】総務課 危機管理室 ☎0854-40-1027

「知ろう語ろうがんのこと」in雲南

1月22日(日)

13:00～16:00 (開場12:00)

三刀屋文化体育館 アスパル

入場料 無料 (定員先着200人)

第1部「がん」を知ろう

演題「がん検診のススメ」

講師 東大医学部付属病院放射線科準教授・緩和ケア診療部長
中川 恵一さん

第2部「がん」を語ろう

がん患者塾 「STOP!働き盛りのがん死亡
～検診に行こう!～」

【問】健康推進課 ☎0854-40-1045

人権センター公開講座

“みんな違ってみんないい”を大切にして

1月27日(金) 19:00～21:30

サンワーク木次

笑ったり泣いたり怒ったり。子どもたちの個性はみんな違って、違っているからこそ毎日が輝きます。発達障がいだってそんな個性の中の1つ。正しい理解と支援で子どもたちがみんな笑顔の毎日をつくりませんか?

講師 雲南市立大東小学校 校長 長澤 幸子さん

入場料 無料

【問】人権センター ☎0854-42-1767

第25回カキまつり

1月29日(日)

10:30～ 特産品販売

11:00～ カキ整理券配布

12:00～ カキなど海産物販売

道の駅「掛合の里」駐車場

【問】掛合総合センター ☎0854-62-0300

※スケジュールは、当日の天候により変更する場合があります。

土曜スピードがんセット検診 (予約制)

雲南市は壮年期のがん死亡者数が増えています。平日は検診になかなか行くことができない方のために、今年も土曜日にがん検診を行います。今年度最後の集団がん検診です。みなさん、検診に行ってみませんか。

【日にち】平成24年2月18日(土)

【ところ】三刀屋文化体育館アスパル

【内容】

	受付時間	対象	自己負担	定員
胃がん	8:30～12:00	40歳～69歳	1,300円	50人
結核・肺がん	9:00～16:00	40歳～69歳	300円(略痰600円)	150人
乳がん検診※1	9:00～16:00	40歳～69歳	1,800円	50人
子宮頸がん検診		20歳～69歳	1,200円	160人
ヒトパピローマウイルス(HPV)検査※2	9:00～16:00	子宮頸がん検診受診時 HPV検査を希望する 20歳～59歳	1,000円	
大腸がん検診	9:00～16:00	40歳以上	500円(70歳以上は無料)	予約不要(当日申込み受付)

☆肺がん、乳がん、子宮頸がん、大腸がん検診はクーポン券対象の方は無料です。(HPV検査は有料)

※1 乳がん検診は2年に1度の受診です。昨年受診していない方は検診を受けましょう。

※2 子宮の細胞の検査で、子宮頸がんの原因となるHPVの検査をします。

【申込み】1月5日(木)から電話またはFAXで受付を開始します。(託児が必要な方は申込時にお申し出ください。)
健康推進課 (電話 0854-40-1045 FAX 0854-40-1049)

【締切り】1月20日(金)(定員になり次第申し込み終了)

●市報うんなん No.86 2012年 1月発行

発行・編集/雲南市役所 政策企画部 情報政策課

〒699-1392 雲南市木次町木次1013-1 ☎0854-40-1015 FAX 0854-40-1019

☐unnan-city@city.unnan.shimane.jp

市報うんなんに対するご意見、ご感想をお寄せください。

👤 人口・42,532人 (-47)

♂ 男性・20,430人 (-23)

♀ 女性・22,102人 (-24)

🏠 世帯数・13,668世帯 (-3)

平成23年12月1日現在(先月比)